



知らないうちに出ているゴミが海の生き物にどのような影響をあたえているのか



〈このテーマにした理由〉

私達は日頃、多くのゴミを出していることが当たり前になってしまっている現在、海の中では困っている生き物が多くいる。生き物は今、私達のゴミで、どんな影響を受けているのか疑問に思ったからだ。

〈プラスチックの被害者〉

ウミガメはロープに絡まったり、間違えてプラスチックを飲み込んで死亡してしまうことがある。



多くのアザラシやアシカ、オットセイの仲間は、捨てられた漁具やロープで遊び、頭を突っ込んだりする。そして、成長するにつれて徐々に首が絞まり、動脈が圧迫され、ゆっくりと絞殺されてしまう。(引用 osea+d)



〈海底にあるプラスチックゴミ〉

ある、千葉県沖にある海底のゴミはポリ袋の他、風船、歯磨き粉のチューブなどがあるが、ゴミの一つであるハンバーグの袋は、製造されたのが1984年。なんと、捨てられてから30年以上経ってもほとんど劣化せずに海底に残っていた。(引用 朝日新聞)



〈問題の背景〉

これが悪化してしまうと、私達の将来が危ない。これ以上海洋ゴミが増えてしまうと、水が汚染されしまったりする。道にポイ捨てをしてしまうと、風などで川や海に流されてしまう。



〈結論〉

私達のゴミで、海の生き物は命を落としてしまうことがわかった。生き物の命を守るためにも、私達の生活を見直す必要がある。

福岡市立高宮中学校 1年3組 Bグループ 環境班 保体班

